

修学旅行新聞

発行所 財団法人協会
全国修学旅行研究会
〒101 東京都千代田区
千代田2-8-7 (錦ビル)
電話 03(3262) 2426・2932
振替 (東京) 6-36337

学校週5日制が 9月12日 全国一斉にスタート

明治五年の学制発布百一十年記念式典が行われる秋、学校生活の枠組みを愛する教育者の第一歩、学校週5日制が九月十二日、(関連記事を3面に掲載)



日中国交正常化20年 修学旅行生は17歳
蘇州・虎丘斜塔を見学 昨年は40校が訪中
(福岡県立宇美商業高等学校)

来年度修学旅行費等の補助単価増額を 全修協と三地区修旅連が

10月6日 大蔵省に陳情



陳情書を福田主計官に渡す

財団法人全国修学旅行研究会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合会(三地区修旅連)の修学旅行費・校外活動費等に関する陳情書を、十月六日大蔵省に提出された。この陳情書は、各省庁の来年度予算の

- ★ われわれは教育を熱愛し 友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに団結する
- ★ われわれは全修協創設の精神にのっとり 公益人として 児童生徒の幸福のために挺身する
- ★ われわれは修学旅行の改善向上に邁進し 我が国の教育振興に寄与する

第7回全修協 修学旅行セミナー 9月25日 名古屋で開催



び近畿日本ツーリストの協賛により、九月二十五日名古屋市教育センターにおいて、学校週5日制と修学旅行をテーマに開催された。写真。

財団法人全国修学旅行研究会主催による「第七回全修協修学旅行セミナー」が、文部省ほかの後援、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合会及び省主計局文部第二係の吉田勝保長を介して、福田進主計官に面会し、修学旅行費・校外活動費等の国庫補助単価の増額について、概算要求しおりに査定されたいと

求めた。このセミナーは、全修協から前田寛理事、総局長、中島和友本事務局長、井村孝修学旅行部長、三地区修旅連を代表して清水章夫副会長(浦和市長)と盤中学校長の四名が大蔵省に陳情した。これに対し、福田主計官から「陳情の主旨は理解した。対象者の認定は厳正に行われるよう配慮願いたい」との回答を得た。

主張 学校週5日制と修学旅行

広報委員 井 桁 孝

急激な社会の変化と国際化の波のなかで、日本の教育制度が大きく変わった。学校週5日制が去る九月十二日に実施されたが、大した混乱もなく行われたことは喜ぶべきである。学校週5日制は、子供が休日となる毎月第二土曜日の過ごし方を巡って、学校、家庭、地域社会に様々な対応が求められることになった。新学習指導要領は平成四年度は小学校で、来年度は中学校で完全実施を見込んでいる。この学習指導要領の精神は、「社会の変化に主体的に対応し、豊かな心を持ちたくましく生きる」人間形成を求めている。そして、新しい学力観を支えられ、ゆとりある生活を通じて、青少年期に様々な体験をさせることの重要性を示した。

現代の子供を取り巻く情勢は誠に厳しいものがある。知識偏重の学力観、主体性の喪失、集団不適応、社会性の欠如、人間関係の希薄化、公衆道徳の欠如、基本的生活習慣の欠落、日本の文化伝統の理解不足、各種体験の不足、これらは戦後の教育がもたらしたはずみではあるが、何としても改善を図らなければならない。その一つの方策として、新学習指導要領に示されている旅行・集団宿泊行事、とりわけ修学旅行の教育的機能を十分に取り入れる必要性を痛感する。修学旅行は子供の主体性を生かし、自己教育力を育てる又とないよい機会を提供する。子供の豊かな発想を生かし自己や集団の課題を設定し、業者の企画旅行や家族旅行

では決してできない集団としての在り方、そして人間としての生き方に迫る体験をさせることが可能である。次に学校週5日制に伴う修学旅行実施上の諸問題について述べてみたい。まず第一に教職員の勤務の態様が変わる。土曜日が休日となるため当然のことながら修学旅行の実施が限定される。土・日を避ける傾向がますます顕著になる。月・火・水の出発が多くなり、その結果として第一にはいわゆる季節の平準化の問題、一校一館の問題に一層悪影響を及ぼす。これが解決のために、関係者が知恵を出し合い検討することが望まれる。いずれにしても、将来の日本を背負い、そして国際社会に羽ばたく、明日の本人の育成のために、人間性、教育性、安全性、経済性を追究しながら生涯学習につながるより質の高い意義のある修学旅行を目指して、たゆみない努力を継続したいものである。(修学旅行セミナーの基調提案から)

風紋

秋田県のある中学校が東京に修学旅行を行い、通勤ラッシュを体験させたという。中学生の修学旅行・変わり種続々という新聞記事の一駒である。同紙はこれを「大都会体験」と報じ、学校は「東京を知る良い機会。ラッシュ体験も大きなねらいだった」と話している。記事のスペースではわずか数行のものであるが、その中に二つの問題が伏在している。一つは「修学旅行における体験とは何か」ということである。白洲正子氏は「体験とは一生を通して感動として残るものでなくてはならない」と書いている。悪名高い東京の通勤地獄にもまれ、電車の奥に押し込まれたら、自分の下車駅のことばかりが気になって、感動はあろうか感想をもつ余裕すらなかったのではないかと、もう一つの問題は安全性についてである。六人組のグループ行動だったらしいが、先生方はどう配置されていたのか。激しいラッシュ通勤に慣れている大人でさえ、電車のドアに腕をはさまれ、電車とホームの間に足を滑らせ、押しつぶされて(誇張ではない)肋骨にヒビが入ったりと事故は跡を絶たない。このときも車内で気分が悪くなった生徒がいたという。体験学習は教育的に価値あるもの、子供たちの人生の一駒として胸奥に残るものでありたい。安全性は何ものをおいても最優先されるべき要件である。心に残る修学旅行は、慎重な配慮によって実現される。

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

ツーリストの修学旅行。

心にあざやかな思い出。

近畿日本ツーリスト

本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

情報交換を密に

修学旅行を考える

東京近鉄観光バス株式会社 代表取締役専務 小山 哲

近年、減る一方の修学旅行。それは私共の輸送サービス...

その原因は多々ある。その一つは、バスを貸切にするのが...

一九九一年十一月三十日 午後五時四十分、上海「太湖」...

二日目の朝は、まるで雲の中。日目の朝は、まるで雲の中...

湖の三倍といわれる雄大な「太湖」。今にも沈もうとする...

ホテルが建っているよう。ボール、トランプ、カラオケ...



周知の事実であります。しかしながら私共の勤務形態...

この様な状況を御理解願いたい。聞きたいと思う所に...

修学旅行の主体は生徒自身であって、生徒たちの見...

六日目の上海動物園でパスタを見、急ぎ足で魯迅公...

中国の街並みは時に古い日本を思わせた。だが、その...

四日目の南京の中山陵、明孝陵、玄武湖公園、長江...

日本は古くから中国文化の影響を強く受けている国である。

五日目、私たちは再び上海へ。夕食後上海雑技団を見物...

今回の旅行で芽生えた友情を胸に、再見。

全国研究大会の成功を 近畿地区公立中学校修学旅行委員会...

和三十六年以來果たしてきた役割の確立と、修学旅行の改善向上を目指し、今後...

中国との友情を胸に

福岡県立宇美商業高等学校 山本 愛子

中国に残る修学旅行へ 中国との友情を胸に



無錫六中では熱烈歓迎を

全国研究大会の成功を 近畿地区公立中学校修学旅行委員会...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

あおぞら号近畿地区運営協議会 常任委員 遠藤友七...

大阪・神戸 別府さんふらわあ 12,000トンの船旅

美しくに 伊勢志摩 伊勢内宮前 岩戸屋

きっと、思い出いっぱいの旅になる。修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。